

教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ					
題名・副題	植物ジュニアレンジャー活動(1) ～温暖化が進むとどうなるか～					
月日・時間	2019年4月27日(土) 10:00～13:30					
開催場所	県立保土ヶ谷公園(横浜市保土ヶ谷区花見台)					
部会・講師名	自然環境部会	吉岡嗣二郎	参加数	19名	講師数	8名
写真						
	公園内の水辺で植物の花などを観察、スケッチ		小川の流れて水温を測定			
			<p>植物観察で気づいたこと、驚いたことを発表</p>			
成果解説	<p>「植物ジュニアレンジャーの活動」教室の第1回目は、県立保土ヶ谷公園で開催しました。テーマは「植物の温暖化の影響」</p> <p>植物の温暖化の影響を観察には、温度を調べる、開花状況を調べる、植物の変化の記録などを続けることが大切であることを説明。公園の「にぎわい広場」から上池～下池の水辺に沿って植物を観察しました。子どもたちは、コデマリ、ハナダイコン、キュウリグサなど開花や植物の様子を詳しく観察しスケッチしました。今回の観察では温暖化の影響は見られませんでした。水辺の流れでは、水温、気温、湿度を測定し、森の温度は赤外線温度計で調べました。植物が二酸化炭素を吸収して温暖化を防ぐことの説明は、低学年生には難しかったようですが、高学年生には「温暖化防止に取り組みをしたい」との意見も聞かれました。</p> <p>今回の植物レンジャー活動で子どもたちは、花の観察の面白さへの興味、森の温度が低いことに驚いたことなど、植物観察の楽しさを発表しました。これらの経験から、温暖化対策への芽生えが感じられました。</p>					